

日本学術会議 地域研究委員会・地球惑星科学研究委員会合同
地理教育分科会 地誌・国際理解教育小委員会（第25期 第2回）議事要旨

日時：令和3年7月23日（金）15:00～17:00

場所：オンライン会議（Zoom 使用）

出席者：松原 宏、井口 梓、池口明子、岡橋秀典、中澤高志、氷見山幸夫、水内俊雄、宮町良広、森本泉、山川充夫、山崎孝史、横山智、由井義通

欠席者：杉本良男、谷口真人

議事

1. 中学校地理の教科書編纂の経験を踏まえた水内委員による話題提供

地理総合で地誌が扱われなくなった主な理由は、中学校で地誌的内容は履修済みということなので、今後のために中学校の地誌的内容について地理学者の視点から議論しておくことが重要と考え、中学校地理の教科書編纂の経験の豊富な水内委員に報告を依頼した。主として、動態地誌の扱い方、地誌に関する網羅主義、地域学習における地域史や地名の空間構成の意義などについて、報告と議論がなされた。

2. 今後の小委員会の目標と進め方

横山委員から文化人類学分科会との連携について前回申し出があったので、横山委員から、この件より具体的な展開に向けて、「フィールドから地球を学ぶ地理総合ハンドブックー文化人類学者と地理学者が深掘りする豆知識集ー（仮題）の出版企画書案」をもとに説明がなされた。その後の議論の結果、本小委員会が窓口となり、文化人類学分科会と連携して企画を進めていくことを基本線とすることを、分科会全体に諮ることとした。

以上